

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)豊中市上新田PJ 新築工事	階数	地上6F
建設地	大阪府豊中市上新田3丁目225-150	構造	RC造
用途地域	第1主中高層住居専用地域、法22条	平均居住人員	108 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2016年11月1日
敷地面積	1,557 m ²	作成者	積水ハウス(株)大阪特建支店
建築面積	862 m ²	確認日	2016年11月30日
延床面積	3,170 m ²	確認者	積水ハウス(株)大阪特建支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 62%
 ③上記+②以外の 62%
 ④上記+ 62%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		その他
総合 高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減に配慮した建物である。また、外構緑化を積極的に行い、生物資源の創出や温熱環境負荷の向上に配慮している。		廃棄物削減、リサイクルに配慮した。
Q1 室内環境 ペアガラスの採用や十分な断熱をし、建物の環境負荷低減に配慮した。	Q2 サービス性能 ゆとりある広さとし、機能性、使いやすさの向上に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑化を積極的に行い、周辺の自然と調和した計画とした。
LR1 エネルギー Low-Eガラスを採用し熱負荷低減に配慮した。高効率な設備機器の採用をし、エネルギー消費量を抑えている。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 高効率な設備機器の採用によりCO ₂ を抑制している。振動や光害に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0119

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)豊中市上新田PJ 新築工事					
	建設地	大阪府豊中市上新田3丁目225-15の一部、225-23の一部					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					5	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.5	5	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊 3.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.8	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				